

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

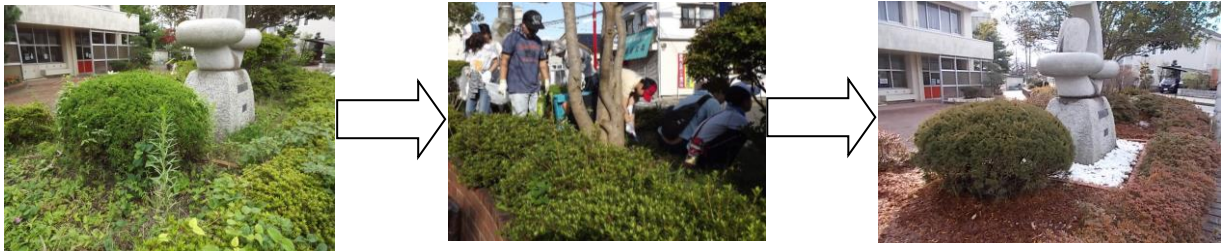
報告書資料 支援 - 07

学校名・団体名	名取市立増田小学校
HPアドレス	http://academic4.plala.or.jp/masuda-e/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	増田小発・心を耕し，未来を創造する名取の復興教育
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>自分たちの活動によって地域が活性化することを体感させ，被災地においても希望と志をもって生きる力を身に付けさせたいと考える。</p> <p>子供たち自身が環境緑化に取り組み，美しく整備された教育環境を生み出すことによって，情操面においてより良いもの，美しいものを感じる「心」を育てていきたい。また，そのような活動を保護者や地域の方とともに取り組むことで被災地・名取の復興に寄与する経験を積ませる。</p>	

1. 環境整備活動

1) 石碑周りの整備

学校名が書かれた石碑と創立120周年記念としてPTAが建てた石碑の周りに雑草が生え、手つかずの状態であった。そこで、PTA活動の一環として、保護者と児童と一緒に除草作業を行い、校名石碑と120周年記念石碑の周りに装飾材（ECO資材）を敷くことで雑草繁殖を抑制し、石砂利を敷くなどして整備することで、地域の顔としてふさわしい学校環境をつくることができた。



2) 花壇整備

緑化委員会が中心となって花壇に花を植えているが、毎年同じ場所に植えるために、土がやせている。そこで、専門家の指導のもと、土壌改良材（ECO資材）を使用することによって、やせた土をふかふかの状態に戻し、保肥性や殺菌作用などにより植物の根に良い環境を整えた。



3) 学校周りの植え込みの整備

学校周辺の植え込みは、雑草が生い茂り、除草しても1ヶ月たてば雑草が再び生い茂り、見た目に良い環境ではなかった。そこで、PTA活動と委員会活動で装飾材を敷き、雑草の繁殖を抑制するとともに、見た目の美しさも向上させた。

雑草が生い茂る植え込み



装飾材を敷いた植え込み：これ以外にも多くの場所を整備済み。



2. 交流活動

1) 老人ホーム訪問

JRC委員会の震災復興支援活動として、児童が老人ホームを訪問した。児童の移動にタクシーを使用することになり、その経費として本助成金を活用することで、活動に取り組むことができた。



3. 成果と課題

- 1) 本県産出のECO資材（杉樹皮）を使用することで、地元の自然環境に関心をもつと同時に、循環型社会・持続可能な社会を目指すことの大切さを学び、児童自らが積極的なECO活動を実践することができた。
- 2) 児童は、花壇や植え込みを保護者や地域の方と整備することで、学校環境を整え、美しい環境作りに取り組む充実感を味わうとともに、学校を大切にする気持ちや地域住民としての自覚を高めることができた。
- 3) 老人ホーム訪問で児童自らが発信を伴う活動をすることによって、復興支援に積極的に関わることができた。